

# WIDE RANGE DODGEBEE COMPETITION

広域ドッジビーコンペティション

第2回近畿・中部大会 2016

Central DODGEBEE Competition 2016

開催要項



日本ドッジビー協会

## 【開催趣旨】

現在、ドッチビー＝ディスクドッチと言っても過言ではないほどにディスクドッチ競技の普及は目覚ましい状況にあり、関係各位には心より感謝いたします。

日本ドッチビー協会は2008年の設立以来、地域における草の根活動（市区町村大会など）をバックアップすることに主眼を置いてきました。

実際に協会設立当初はあえて、地域大会のローカルルールを阻害することなく、どちらかと言えば促進すらして参りました。

愛知県におけるディスクドッチの普及は過去ナゴヤドームを会場に全国大会を4年間おこなった（主催：日本フライングディスク協会）こともあり、全国で最も普及が進んだ地域と言えますが、そのような時代背景から未だローカルルールでおこなわれている現実があります。

あらゆるスポーツが統一ルールでおこなわれることで即時スムーズな交流ができる。スポーツの基本とも言えるこの利点に異存はなく、それを活用し、さらにドッチビーの促進を進める時期が、今や到来していると実感しています。

また、ドッチビーの大きな特長である年齢性別の差を感じにくい競技であるという評価を数多くいただくことを鑑みますと、その交流の輪をさらに広げることを真摯におこなう責務が、私たち、DBJAにはあるものとも感じています。

今年2015年、協会は中・長期計画を策定しました。簡単に要点を記しますと、

- ・ディスクドッチ／ドッチディスクがある程度普及したことから、ゴールドドッチの本格普及をおこなう。
- ・現在、3種目である公式競技を拡大、4番目、5番目の提案をおこなう。
- ・2019年度内を想定し全国大会の開催を、具体的目標として会場は東京ドームでおこなう。といったことが協会の統一意志として決議されました。

全国大会は今、一番認知されているディスクドッチ種目が中心になると思われませんが、その場をプレゼンテーションの場として活用することで、ドッチビーディスクを使った種目全般を広くアピールしたいと考えています。

運営の詳細は全く未定ではありますが、ひとつの可能性として統一ルールによって実施されることを条件とした広域ドッチビーコンペティションを全国大会の予選大会として位置付けることも視野に入れて準備に着手いたします。

本大会はそれらも踏まえた広域大会となります。関係各位におかれましては、上記、趣旨御理解の上、ご支援およびご協力を賜りたく、何卒宜しくお願い申し上げます。

日本ドッチビー協会  
代表 稲垣 敬雄

## 【大会の概要】

- 名 称** 広域ドッチビーコンペティション  
第2回近畿・中部大会 2016  
Central JAPAN DODGEBEE Competition 2016
- 日 時** 2016年（平成28年）2月28日（日曜日） 9：00～18：00
- 場 所** 日本ガイシホール  
愛知県名古屋市南区東又兵衛町5丁目1-16  
TEL 052-614-3111
- 主 催** 日本ドッチビー協会
- 幹事主管** 愛知県フライングディスク協会
- 後 援** （すべて予定／申請中）  
愛知県 / 愛知県教育委員会  
公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団  
名古屋市 / 名古屋市教育委員会  
公益社団法人 全国子ども会連合会、  
中日新聞社 / その他
- 協 力** 岐阜県フライングディスク協会  
三重県フライングディスク協会
- 特別協賛** 【1 社】
- 協 賛** 【数 社】
- 表 彰** 各大会 各部門 優勝／準優勝／3位 まで表彰
- 参加費用** 一人あたり（傷害保険加入費用を含みます）  
小・中学生 = @1,000円  
  
一般（中学卒業以上） = @2,000円  
  
障がい者（一律） = @1,000円  
  
お支払は当日、会場を予定しています。

- 参加条件** 各チームは線審2名を出していただきます。  
(予選リーグは試合のないチームより)  
(決勝トーナメントは敗者チームより)
- 大会ルール**
- ・基本的に日本ドッチビー協会公式ルールで実施しますが
- ディスクドッチはすべての部門において、小学生推奨の上投げ禁止、バックハンドおよびフォアハンドスローのみ、とします。
- ゴールドッチは日本ドッチビー協会公式ルールで実施します。
- ・その他、本大会の特別ルールを設定する場合があります。  
詳細はお申込みチーム宛に最終案内でお伝えします。
- 確認事項** ◆当日、大会名義関係者による映像・写真撮影がされ、後日に大会関係各団体の目的のために使用しますが、本大会に参加する皆様にはあらかじめ同意いただきます。
- 運営注意事項**
- ・できるだけ全メンバーが揃った背番号付きのウェアを着用してください。  
用意できない場合、ゲーム用ビブスは主催者で用意します。
  - ・ウェアの色について、黒とオレンジは審判および競技運営のスタッフが着用しますので、避けてください。
  - ・次にゲームを行うチームは前試合中に各コートに集合します。
  - ・対戦の組み合わせは参加申込〆切後、日本ドッチビー協会により決定し、その対戦は試合当日に発表します。
  - ・審判はドッチビー協会資格取得者を中心に構成します。
- 会場注意事項**
- ・会場での飲食は指定場所以外、禁止です。
  - ・ゴミは各自、お持ち帰りいただきます。
  - ・駐車場は数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用くださいますようお願い申し上げます。
  - ・会場（アリーナ）は引率者も含め土足禁止ですので室内履きを必ず、ご持参ください。

## 【競技の想定概要】

競技方法 各大会 各部門、予選リーグ戦、決勝トーナメント方式を予定。  
詳細は参加チーム決定後ご案内しますが現状、以下を予定しています。

### 1) 小学生低学年部門

募集数 : 8 チーム  
4 チーム×2 リーグによる予選  
各上位 2 チーム計 4 チームによる決勝トーナメント戦

出場資格 ・原則として小学校 1～3 年生  
・1 チーム 13～20 名までのチーム単位で申込み。  
・4 年生以上の出場は一切認めません。  
・1 ゲームに出場するプレイヤーは 1 チーム 13 名。  
・チームの人数が 13 名に満たなくても、あらかじめ不利なことを確認のうえ、試合可能とします。  
・各チーム代表引率者 1 名を登録してください。(別紙申込書に記入)

### 2) 小学校高学年部門

募集数 : 32 チーム  
4 チーム×8 リーグによる予選  
各 1 位チーム計 8 チームによる決勝トーナメント戦

出場資格 ・原則として小学校 4～6 年生  
・1 チーム 13～20 名までのチーム単位で申込み。  
・3 年生以下の出場を認めます。  
・1 ゲームに出場するプレイヤーは 1 チーム 13 名。  
・チームの人数が 13 名に満たなくても、あらかじめ不利なことを確認のうえ、試合可能とします。  
・各チーム代表引率者 1 名を登録してください。(別紙申込書に記入)

### 3) 一般オープン部門

募集数 : 16 チーム  
4 チーム×4 リーグによる予選  
各上位 2 チーム計 8 チームによる決勝トーナメント戦

出場資格 ・原則として中学生以上、性別不問  
・1 チーム 10～20 名までのチーム単位で申込み。  
・1 ゲームに出場するプレイヤーは 1 チーム 10 名。  
・チームの人数が 10 名に満たなくても、あらかじめ不利なことを確認のうえ、試合可能とします。  
・引率者の登録はありません。

#### 4) 一般レディース部門

募集数 : 8チーム  
4チーム×2リーグによる予選  
各上位2チーム計4チームによる決勝トーナメント戦

出場資格 ・原則として中学生以上の女性  
・1チーム10～20名までのチーム単位で申込み。  
・1ゲームに出場するプレイヤーは1チーム10名。  
・チームの人数が10名に満たなくても、あらかじめ不利なことを確認のうえ、試合可能とします。  
・引率者の登録はありません。

#### 5) 障がい者部門

募集数 : 8チーム  
4チーム×2リーグによる予選  
各上位2チーム計4チームによる決勝トーナメント戦

出場資格 ・知的障がい者とします。  
・13名以上20名までのチーム単位で申込み。  
・1ゲームに出場するプレイヤーは1チーム13名。  
・チームの人数が13名に満たなくても、あらかじめ不利なことを確認のうえ、試合可能とします。  
・必ず2名以上の介護者の引率をお願いいたします。  
・各チーム代表引率者1名を登録してください。(別紙申込書に記入)

《想定来場者数》 約2,000名

① ディスクドッチ競技者数		1080名
小学生低学年	8チーム×15名	=120名
小学生高学年	32チーム×15名	=480名
一般オープン部門	16チーム×15名	=240名
一般レディース部門	8チーム×15名	=120名
障がい者部門	8チーム×15名	=120名
② ゴールドドッチ競技者数		80名
小学生部門	4チーム×10名	=40名
一般オープン部門	4チーム×10名	=40名
③ 同伴保護者等		500名
④ 観戦・応援者		300名
⑤ スタッフ・関係者		40～50名

## 【お申込み 及び 大会への問合せ】

申込方法 申込書【別紙】を郵送、またはFAX、メールにて  
下記、愛知県フライングディスク協会宛にお送り下さい。

申込み多数の場合、先着優先および地域ごとのバランス等  
考慮のうえ、主催および主管者にて決定させていただきます。

ついては、記入不備がある場合、先着優先順となった際に降格  
となりますことがありますので、ご注意ください。

申込〆切 平成28年1月25日（月）申込書 到着

申込先 愛知県フライングディスク協会事務局

住 所 : 〒470-1211 豊田市畝部東町宗定 397 (有)三豊 内

T E L : 0 5 6 5 - 3 0 - 7 0 6 5

F A X : 0 5 6 5 - 2 1 - 5 3 6 2

携帯電話 : 0 9 0 - 8 5 4 3 - 7 4 3 7

担当者 : 竹内 博行

m a i l [mitutoyo@hm7.aitai.ne.jp](mailto:mitutoyo@hm7.aitai.ne.jp)

## 【競技等全般のお問合せ】

日本ドッジビー協会 DBJA

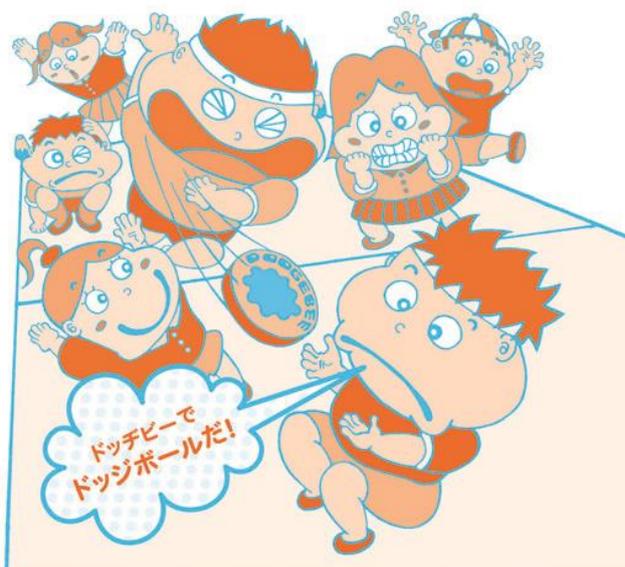
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-46-302

TEL : 03-3264-3626

Mail : [support@dbja.jp](mailto:support@dbja.jp)

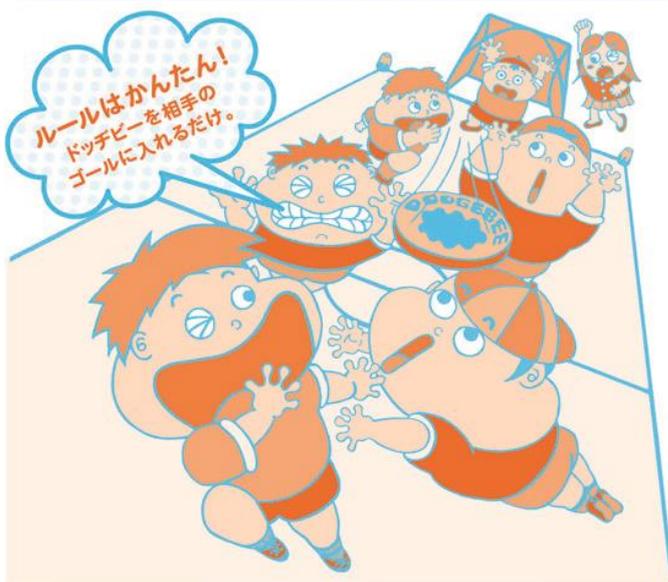
## 【競技紹介】

### 1) ディスクドッチ



バレー・ボールと同じ9×18mのコートでゲームをおこないます。ドッジボールとほぼ同様のルールで、相手チームの内野をすべて倒したチーム・制限時間の終了時に内野人数の多いチームの勝ちです。ボールではなくディスクを使用するため、腕力や体格の差が出がたく、年齢性別を問わず多くの方が一緒に楽しめるゲームです。

### 2) ゴールドドッチ



フットサル、またはハンドボールのコートでゲームをおこないます。味方同士でパスをつなぎ、相手のゴールにシュート。ゴールに入れば1点獲得。制限時間終了後、得点の多いチームが勝つパスワークが重要なゲームです。安全性を確保するため、選手の接触は一切禁止されています。接触した場合、相手チームにペナルティ・スローが与えられます。

広域ドッチビーコンペティション  
第2回近畿・中部大会 2016 参加申込書

大会名	ゴールドドッチ / ディスクドッチ
部門名	
チーム名	
代表者名	
代表電話連絡先	
代表メールアドレス	

	学年・年齢	氏名	校名(備考)	金額
1			キャプテン	
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
合計金額				円

広域ドッチビーコンペティション連絡事項	
大会名	ゴールドドッチ / ディスクドッチ
部門名	
チーム名	
代表者名	
代表電話連絡先	
代表メールアドレス	

**連絡内容** ゴールドドッチの少人数での申込み希望などその他、連絡事項がある場合、下記にご記入のうえ申込先へ送信してください。